

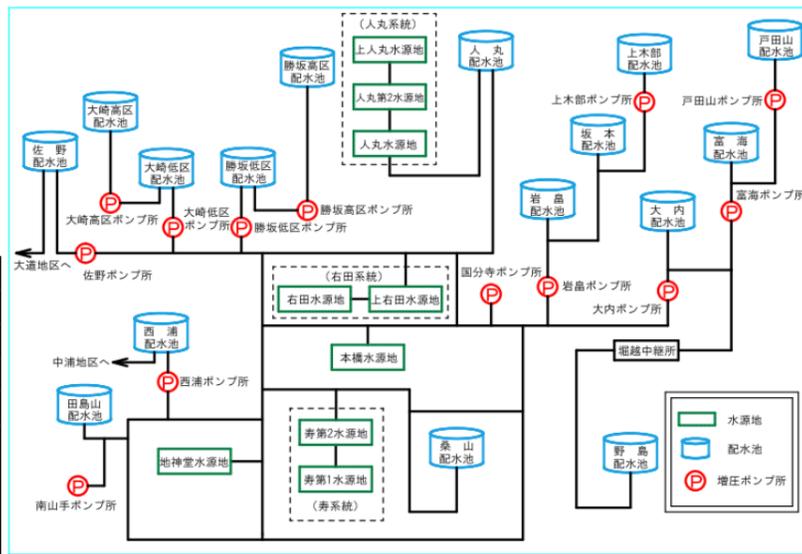
防府市水道ビジョン 防府水物語 概要版

計画年度 平成 22 年度～平成 31 年度

【現状と課題】

1. 現状
- 事業の変遷
- 昭和 25 年度 岡村中継ポンプ場完成 (協和醗酵工業から分水)
 - 昭和 26 年度 上水道給水開始
 - 昭和 34 年度 防府市水道事業給水条例公布
 - 昭和 35 年度 水道創設事業完了
 - 昭和 39 年度 工業用水道事業開始
 - 昭和 49 年度 第 3 期拡張事業完了
 - 昭和 56 年度 野島海底送水管完成
 - 平成 20 年度 第 4 期拡張事業 5 次変更認可
- 施設の概要

施設	諸量 (平成 20 年度)
水源地	5 箇所 (合計 55,800 m ³ /日)
増圧ポンプ所	13 箇所
配水池	16 箇所 20 基 (合計 37,566 m ³)
配水管延長	550.8km
基幹施設	
水源地:	人丸、上右田、寿第 2、地神堂、本橋
配水管:	口径 350 mm 以上 (合計 26.2km)
配水池:	人丸、桑山 (合計 30,000 m ³)



清浄な名水がいつでもどこでも

2. 取組みと課題

安心な水

- 水質の状況
- お客様ニーズの把握

おいしい水の要件

水質項目	本橋水源地の原水	要件
蒸発残留物 (mg/)	63	30～200
硬度(Ca, Mg 等) (mg/)	27.5	10～100
遊離炭酸 (mg/)	10.7	3～30
過マンガン酸カリウム消費量 (mg/)	0.5 未満	3 以下
臭気度	異常なし	3 以下
残留塩素 (mg/)	0.1 未満	0.4 以下
水温 ()	14.5	15 以下

[主な課題]

- 安全・安心な水質の維持
- お客様ニーズの把握

持続できる水

- 経営と財政課題
- 水道料金
- お客様サービス

経営のしくみ

健全な経営に努めています
借入金を返済し
水道料金をいただき

[主な課題]

- 経営の効率化と財務体質の改善
- お客様サービスの充実

安定した水

- 水需要の変遷
- 水道施設の課題
- 配水管の布設状況
- 漏水修理
- 漏水調査
- 地震対策
- 湧水対策

地震対策 3 指標

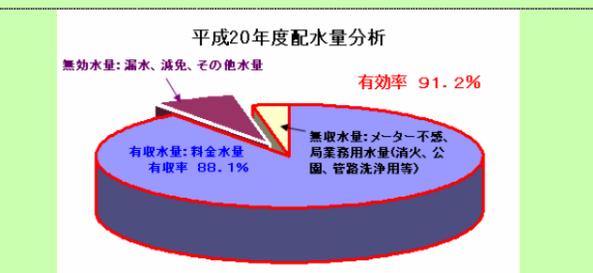
防府市	平成 20 年度
基幹管路	36.2%
浄水施設	0.0%
配水池耐震	85.2%
地震対策 3 指標	121.4%

[主な課題]

- 老朽化施設の更新
- 施設の事故防止対策
- 管路や構造物の耐震対策

環境と水

- 有収率と有効率
- 環境対策



[主な課題]

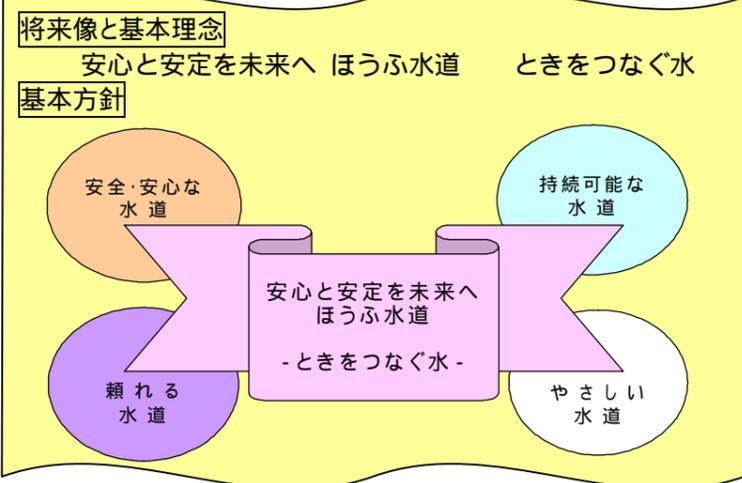
- 有効率の向上
- 持続可能な水環境の確保

【将来像と目標】

幾千年の昔から、豊かな水に恵まれたここ防府の地。このかけがえのない大切な水資源を、将来にわたって引き継いでいくことは、私たちの使命です。この水は水道として水源地から蛇口までをつなぐと同時に、お客様一人ひとりをつないでいます。お客様に将来にわたって安心して水道をお使いいただけることを目標にします。

【方向性と具体的施策】
取組み項目

- 安全・安心な水道 - 安心・快適な給水の確保 - 水源と水質
 - 水源の保全
 - 水質管理
 - 水質事故防止
 - 安全な施設管理
 - 浄水施設の整備
 - 浄水処理の高度化
 - 水需要と水源計画
 - 給・配水施設の整備
 - 効率的な水運用
 - 管網の整備
 - 給水装置の整備
 - 貯水槽水道の管理
 - 未給水対策
 - 未普及地域の解消
- 持続可能な水道
 - 運営基盤の強化とお客様サービスの向上
 - 財政状況
 - 財政基盤の強化
 - 組織体制
 - 組織の効率的運用
 - 民間委託の活用
 - 人材育成
 - 計画的な事業の推進
 - 国際規格、業務指標の活用
 - 事業の評価
 - お客様サービス
 - サービス向上施策
 - 広報活動の充実
 - お客様ニーズの把握
- 頼れる水道 - 災害対策の充実 - 防災の基本方針
 - 水道施設の被害想定
 - 水道施設の要件
 - 耐震化対策
 - 施設の耐震化対策
 - 被害発生抑制
 - 影響の最少化
 - 耐震化施設の選定
 - 応急対策 (風水害対策を含む)
 - 非常用電源の確保
 - 災害時における相互応援協定
 - 防災訓練の実施
- やさしい水道 - 環境対策の強化 - 環境・省エネルギー対策の強化
 - 有効率の向上
 - 環境保全



項目毎の目標と数値目標 (現状) 5年後 10年後

佐波川水系水質保全連絡協議会との連携 水質検査計画の充実と水質監視所の増設 関係機関との連携と監視体制の強化		
紫外線消毒装置の設置 北右田水源地の浸水対策		
配水池・中央監視制御装置の更新 石綿セメント管、鑄鉄管、塩化ビニル管更新 鉛製給水管の更新 半減 解消 逆流防止弁の点検、技術講習会の開催 台帳の整備、点検管理の指導徹底 直結給水の推進	更新率 1.50%を維持	
水道普及率 (93.2%)	93.8%	94.4%
企業債残高 (119.5億円)	111億円	105億円
自己資本構成比率 (44.3%)	51%	54%
中長期事業計画、事業の優先度による策定		
組織体制の効率的推進 上下水道の統合、民間委託の活用 人材育成の充実		
客観的な業務評価 ワンストップサービスの実施 クレジットカード払いの導入 広報活動の充実		
お客様ニーズの把握 (アンケート、モニター)		
耐震化計画 応急給水施設の整備		
地震対策 3 指標 (121.4%)	157%	189%
管路耐震化率 (3.9%)	10%	20%
耐震化対策の充実、浸水対策 非常用発電設備の更新、拡充 相互応援給水、防災訓練の実施		
省エネルギー対策 新エネルギー活用の推進 環境会計の導入		
有効率 (91.2%)	93%	95%
環境保全		